

様式 C - 10 - 1 【記入例】

平成19年度科学研究費補助金（基盤研究（A））の研究代表者所属研究機関変更届

平成19年 月 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

大学・ 学部・教授 (印)

研究者番号 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8

このたび、下記のとおり所属する研究機関を変更しましたので報告します。

記

1. 課題番号 1 | 9 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7

2. 研究課題名 _____ に関する研究 _____

3. 交付決定額 39,000,000円 ... +
 うち直接経費 30,000,000円 ...
 間接経費 9,000,000円 ...

4. 変更前

1) 研究機関・部局・職（及びその番号）

_____ 大学 学部・准教授 _____

機関番号・所属番号・職番号
 1 | 2 | 4 | 5 | 6 | 4 | 0 | 4 | 2 | 7

2) 支出済額

ア．直接経費支出済額 20,000,000円 ...
 イ．間接経費（ = 「0」であれば「0」を記入） 6,000,000円（ ×30%） ...

5. 変更後

1) 研究機関・部局・職（及びその番号）

_____ 大学 学部・教授 _____

機関番号・所属番号・職番号
 3 | 2 | 3 | 4 | 5 | 4 | 0 | 5 | 2 | 0

2) 使用予定額

ア．直接経費（ - ） 10,000,000円 ...
 イ．研究機関の間接経費の受け入れの可否 (可) ・ 否
 ウ．間接経費（上記イ．が否であれば「0」を記入） 3,000,000円 ...

6. 変更する必要が発生した年月日 平成19年10月1日

7. 上記1.の研究課題に関する確認事項（該当する番号（1又は2）を選んで記入）

1) 当該研究課題に係る平成19年度実績報告書の提出先()
 (1 = 変更前の機関 2 = 変更後の機関)

2 (補助金の使用が終了していない場合は、「2」を選んでください。)

2) 研究課題の予定（ 1 = 本年度で終了 2 = 来年度も継続）

2

様式 C - 10 - 1 及び 様式 C - 10 - 2 【作成上の注意】

1. この所属機関変更届は、交付決定後において研究代表者が、科学研究費補助金取扱規程第2条に規定する研究機関へ異動した場合に、又は研究組織変更により研究代表者を所属研究機関の異なる研究分担者に交替する場合に作成し、変更後の研究機関を経由して速やかに提出すること。
また、本様式の提出にあたっては、交付申請書の写し（この研究課題が研究組織を変更している場合は、交付申請書及び当該研究組織変更承認申請書の写し）を一部添付すること。
2. 「3. 交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載の交付決定額を記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、この欄を含め全ての間接経費欄に「0」を記入すること。
3. 「4. 2）支出済額」欄には、この申請書の提出時の支出済額（当該研究のために使用した利子（預貯金利息）を除く。）を記入すること。
4. 「4. 2）支出済額」欄の の間接経費の額は、円未満を切り捨てること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。
5. 「5. 2）イ. 研究機関の間接経費の受け入れの可否」欄は、該当する箇所に を付すこと。
なお、間接経費が措置されていない研究種目については、記入しないこと。
6. 様式C - 10 - 1の「7. 上記1.の研究課題に関する確認事項」欄には、1)実績報告書の提出先及び2)研究課題の予定のそれぞれの事項について、該当する番号（1又は2）を選び、該当欄に記入すること。
7. 「特別研究員奨励費」の場合、「課題番号」欄は「採用年度・受付番号」を右詰で記入すること。

（例）・平成17年度の採用の特別研究員で受付番号が1234の場合

{1|7|・|1|2|3|4|}

・平成17年度の採用の外国人特別研究員で受付番号が01234の場合

{1|6|・|0|1|2|3|4|}

注)外国人特別研究員のみ受付番号の一桁目に「0」がつく。